

## 電力貯蔵装置を活用したデマンドレスポンスの開始について

九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮 洋二 以下、「当社」）は、大阪ガス株式会社（以下、「大阪ガス」）、Daigasエネルギー株式会社（以下、「Daigasエネルギー」）と、当社筑肥線唐津変電所に併設された電力貯蔵装置を活用したデマンドレスポンス<sup>※1</sup>による調整力公募<sup>※2</sup>に参加することについて合意しました。

電力貯蔵装置は、電車が減速する際に発生する回生電力を貯蔵し、電車が加速する際の電力として有効利用するための装置であり、当社では2018年11月に導入し省エネルギー化を図ってきました。今回、本装置の貯蔵電力を電力需給のひっ迫時に積極的に放電し、購入電力を削減することでデマンドレスポンスを行い、電力需給の安定化に貢献します。

※1 デマンドレスポンス：電力の需要と供給の安定化を図るため、需要家側の設備を調整力として活用すること

※2 調整力公募：一般送配電事業者が実施する電力需給安定化のための調整力電源の公募調達

### ■実施場所

筑肥線唐津変電所（住所：佐賀県唐津市和多田）

### ■供給区間

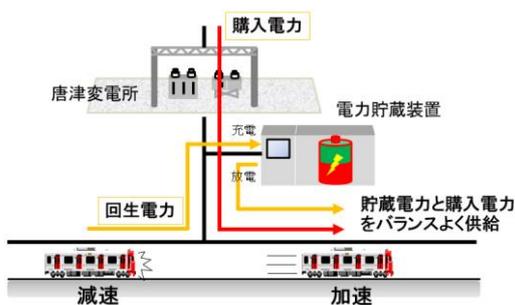
筑肥線 福吉駅（福岡県糸島市）～西唐津駅（佐賀県唐津市）間 約19km

### ■実施期間

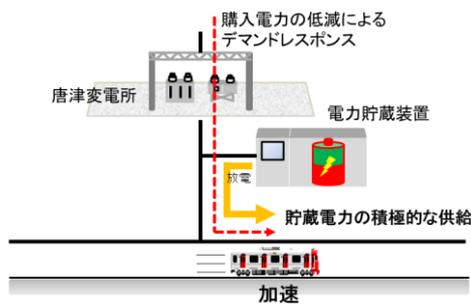
2023年4月～2024年3月

### ■電力貯蔵装置によるデマンドレスポンスについて

#### 【通常時】



#### 【デマンドレスポンス実施時】



### ■調整力公募のスキーム



※3 需要家と一般送配電事業者の間で、電力の需給バランスのコントロールや、各需要家のエネルギーリソースの活用に取り組み事業者